

## 事例 14 グリーン・サポート・スタッフによる植生保護に向けた取組（東北森林管理局 仙台森林管理署）



- 宮城県柴田郡（しばたぐん）川崎町（かわさきまち）  
上原山（かみのはらやま）国有林
- （左）コマクサ（令和4年7月）  
（右）植生を保護するロープの補修をしている様子（令和4年6月）

仙台森林管理署では、入山者による植生の荒廃などが懸念される蔵王国定公園内の国有林野において、グリーン・サポート・スタッフによる巡視等を行っています。

蔵王国定公園にはコマクサ等の貴重な高山植物が生育していることから、植生の荒廃を防止するため、植生を保護するロープの設置や入山者への啓発用チラシの配布等を行っています。

令和4年度は、6月から8月にかけて、3名のグリーン・サポート・スタッフが巡視等を行うとともに、巡視により確認した3箇所の植生荒廃地において、ロープを設置し、植生の保護を図りました。